

今年は例年になく暖冬といわれています。そういった中でも寒の戻りを感じることもあります。気がつけば、今年度も残り1か月余りとなりました。3年生は義務教育の終盤で、公立入試と卒業式をひかえております。1、2年生にとっても次年度に向けての大切な時期となります。生徒が今年度をいかたちで締めくくることができるよう、保護者の皆様、地域の皆様方のご支援を引き続きよろしくお願いいたします。



地域の方から学ぶ（立志式 式辞より）

校長 山本 道夫

立志式を迎えた三十三名の二年生のみなさん、おめでとうございます。

明日は立春ですが、まだまだ寒い日が続いています。しかし、その寒さに負けずに、土の中の草花や地上の木々の芽は、花咲く春の準備をしています。さきほど、みなさんの誓いの言葉を聞かせていただきました。たいへん力強く、素晴らしい言葉でした。これから先、大切なことは有言実行だと思います。



今年度、二年生は二十一世紀型プログラム学習を試験的に導入し、長門市内中学校のテストパイロット校として計十時間のプログラムを実施しています。この学習は自分の価値観を知り、自分の見方で地域の課題を発見し、課題解決を考え、ひいては自分の夢や目標につなげるという取組です。ネット上ではありますが、まったく新しい人と出会い、つながり、さまざまなことを感じることができていると思います。また、十二月にはネットの中だけでのつながりであった方々が本校に来校され、顔を合わせて交流できたことは本当に意味深かったと思います。特にその中で注目するのは株式会社63Dネット代表取締役

末永さんとの交流でした。末永さんは長門の方で、根底には「長門の魅力をもっと発信したい。」「生産者と消費者を結びたい。」という思いがあるそうです。63Dネットの役割は①新たに農業をしようと考えている人を支える。②できた農畜産物を原料に商品を開発する。③商品を流通・販売する。この三つです。農業に関わる人がバラバラで取り組むよりも、共同で加工し販売したほうがよいということから63Dネットはスタートしています。ただし、悩みも多い。人が多く関われば意見も食い違う。まとまるものがなかなかまとまらないということもあったようです。当然、逆風を感じることも大きな壁にぶち当たり、泣きたくなるようなことも多々あったでしょう。そんな時は「思い」の原点に立ち返ることを大切にしておられます。「長門の魅力をもっと発信したい。」「生産者と消費者を結びたい。」これが末永さんの原点だと思います。

その末永さんが、長門の若者へのアドバイスとして次のような言葉を言われています。「今頃の若者はできない理由を先に考えて、動かない人が多いように感じています。伝えたい気持ちをもって、まずは動くということを大切にしてほしい。仕事ならば与えられた仕事だけが仕事ではありません。高い目線をもって、思いついたことは動きながら考え、人間力を鍛えましょう。失敗をおそれず、たくさん挑戦してください。」こうおっしゃっています。

根底となる思いがあれば、辛いことがあってもがんばれる。この「思い」こそが「志」に他ありません。みなさんの「志」はそれぞれの胸の中にあると思います。志という軸がぶれなければ、どんな壁でも乗り越えられ、どんな逆風にも耐えることができると思います。そして、失敗から学び、次に生かすことができればなお、素晴らしい。失敗をおそれず挑戦してほしいと思います。

立志式

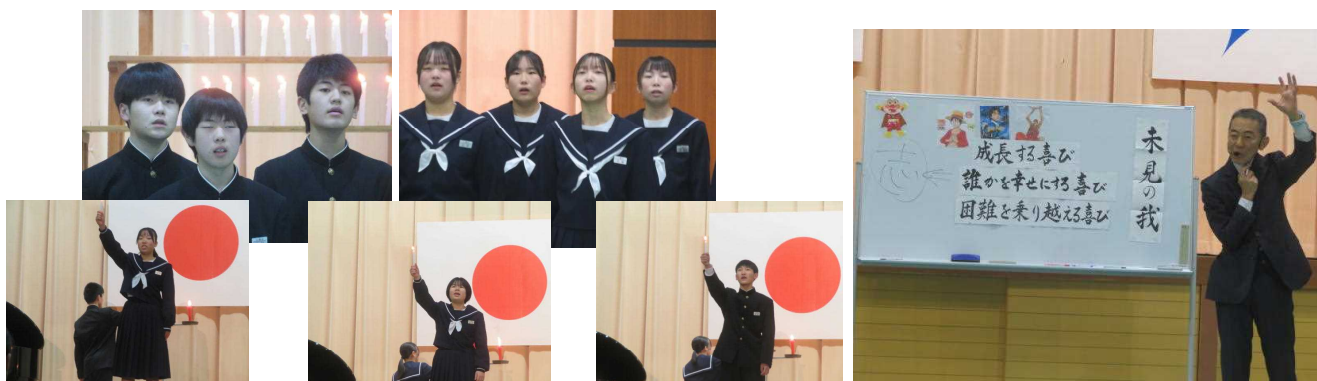
2月3日（土）、立志式が行われました。一説によると、本校は立志式発祥の地ということで、かなりの緊張感の中、2年生はそれぞれ誓いの言葉を述べました。言葉にはそれぞれの思いが込められており、立派に発表することができました。

式のあと、記念講演会が行われました。今回は講師として元下関市教育委員会教育長 児玉典彦先生をお招きしました。先生は約20年前、喉頭がんを患い、声帯を除去し声を失われました。その後、発声補助器具を使いながら校長職や教育長職を歴任されました。今回、生徒は先生のお話を食い入るように聞き、それぞれが何らかのメッセージを受け取ったことと思います。以下に生徒の感想を載せました。

今日の講演会「未見の我」で、私は「誰かを幸せにする喜び」「成長する喜び」「困難を乗り越える喜び」を学びました。これからいろいろなことに挑戦し続けて、まだ自分の知らない新しい自分を見つかけたいと思います。

自分にはまだ自分ですらわからない私がいるんだなとびっくりしました。そして夢と志は全くの別物だということもわかりました。最初は似たようなものだと思っていたけれど、夢には賞味期限があるということ知り、感動しました。そしてまずは夢に向かって挑戦することが大切だということがわかりました。今日の話をしっかり心に刻もうと思います。

最初から最後までずっと涙が止まりませんでした。家族やいろいろな方々から支えられ、今があるということ、そして、困難があったときでも周りを幸せにできる児玉先生の生き方が素敵で感動しました。私の夢としているある仕事は自分が支える立場なので、今から大人になって働くときに周りを意識し、みんなが幸せに暮らすことができるように努力します。



第5回学校運営協議会

2月9日（金）、今年度最後の学校運営協議会が行われました。今回の中心は2年生全員、保護者、地域の方が小グループに分かれての熟議です。テーマは「これからの未来を生きる子どもたちに必要な学力 ～子どもたちの学びのために、しくじり先生からのメッセージ～」です。大人の成功体験談ではなく、逆に多くの失敗の中からどう学んで現在にいたったかという話が中心です。生徒が何らかのメッセージを受け取り、失敗をおそれず、挑戦することにつながることをめざして実施しました。



今後の主な行事予定

2/26（月）1、2年学年末テスト
（～27日）
3年直前習熟度テスト
29（木）性に関する学習会
3/ 1（金）全校集会
6（水）公立高校学力検査

3/ 7（木）3年生を送る会、同窓会入会式
8（金）第77回卒業証書授与式
15（木）公立高校学力検査合格発表
22（金）新入生仮入学
25（月）学年末保護者懇談会
26（火）修了式
29（金）離任式

